

平成24年度 学校評価(自己評価書)

学校名	旭川市立明星中学校	校長名	増 茂 薫
-----	-----------	-----	-------

※【評価方法】 全教職員による自己点検・自己評価を実施し、さらに生徒や保護者アンケートの結果を踏まえて、成果と課題及び改善方を明らかにした。「評価」欄については、各項目を4点満点で点数化し、その平均値を示すとともにA～Dの4段階で評価した。

大項目		評価項目	評価		成果と課題	改善の方策	
		小項目及び指標					
重点目標		① 学年・学級経営を充実するとともに、基本的な生活習慣の確立を図り、主体的に健康で安全な生活を送る態度の育成に努めている。	★★★★☆	3.78	A	全教職員あげて学年・学級経営の充実をめぐることで基本的な生活習慣や望ましい学習習慣が身に付いてきている。また、わかる授業づくりをめざし全員で研修に取り組みことで学習への意欲化が図られている。	今後も、経営方針を明確にし、協働体制を一層強化し、健全な生活を送り目標に向かって努力する生徒の育成を図る。また、一人一人の個性を尊重し、「生きる力」を育むための支援を継続して行う。
		② 意欲を高め、わかる授業を展開するとともに、望ましい学習習慣の確立を図り、確かな学力の向上に努めている。	★★★★☆	3.81	A		
教育指導	1 学習指導	① 生徒の発達段階や実態に即して指導内容を重点化し、基礎的・基本的な学習内容の定着を図っている。	★★★★☆	3.76	A	習熟度別学習指導やチーム・ティーチングなど少人数指導の充実を図るとともに、放課後や定期テスト前、長期休業中の補充学習の場を設定し個に応じたきめ細やかな指導に努めたことで家庭学習の充実が図られている。	今後も、確かな学力の向上に向けた取組を推進するとともに、望ましい学習習慣の確立に努める。また、個に応じた指導をより一層充実させるとともに指導方法の改善と工夫に努める。
		② 問題解決的な学習や体験的な学習を重視し、複数教員による指導や個に応じた指導など指導方法の工夫・改善に努めている。	★★★★☆	3.62	A		
	2 生徒指導	③ すき間のない指導体制のもと実態に応じたきめ細かな指導を行い、規範意識の高揚と基本的な生活習慣の定着を図っている。	★★★★☆	3.67	A	生徒との日常のふれあいを大切にしながらすき間のない生徒指導に努め、「学校全体の秩序と安定」を図ることができている。また全校集会を全体指導の好機ととらえ生徒の内面に響く指導に努めている。	今後も、生徒とのふれあいを大切にしながら、落ち着いた学校生活と様々な活動に積極的に取り組む生徒のために、「報・連・相」による協働体制を構築する。また、よき校風の継承のため規範意識の高揚を図る。
		④ 日常的な教育相談や学級活動を通して心の触れ合いに努め、自己指導能力を育てる積極的な指導に努めている。	★★★★☆	3.71	A		
	3 道徳教育	⑤ ボランティア活動や豊かな体験活動を生かして内面的な自覚を促し、道徳的な実践力を育てている。	★★★★☆	3.86	A	道徳の時間はもとより、日常のあらゆる場面を通して、豊かな心の育成に努めている。また今年度は、外部講師による全校道徳を実施し、生きることの素晴らしさを感じ取る授業を展開することができた。今後は各教科との関連を図ることが課題である。	道徳の時間の指導の改善・充実に努めるとともに、今後も日常のあらゆる場面での働きかけを通して道徳的な実践力の育成に努める。
		⑥ 道徳の時間を要として各教科等との関連を図り、生徒の実態に即した重点的な指導に努めている。	★★★★☆	3.19	B		
	4 特別活動	⑦ 望ましい集団活動を通して個性の伸長を図り、集団や社会の一員としてよりよい生活を築こうとする自主的・実践的な態度を育てている。	★★★★☆	3.81	A	校内陸上大会、修学旅行、宿泊研修、学校祭などを通して個々の伸長と集団の向上を図るとともに、学級・学年そして学校文化の形成と発展を図り学校生活に秩序と潤いを与えることができた。	今後も、学級における話し合い活動などを大切にしながら生徒の自主的・実践的な態度を育み、学級や学校生活の充実と向上に努める。
		⑧ 学級活動を基盤に話し合い活動を充実させ、リーダーとフォロワーの育成や、学校生活の向上に取り組む望ましい集団の育成に努めている。	★★★★☆	3.74	A		
	5 総合的な学習	⑨ 育てようとする資質や能力を明確にし、生徒が自ら学び主体的に問題を解決しようとする力を育てている。	★★★★☆	3.57	A	情報を適切に処理する力やコミュニケーション力を向上させる学習、そして学年縦割りによる講座形式での学習など、様々な場を通して自ら学び課題を解決していく力を育ててきた。今後は地域の人的・物的環境のなお一層の活用が課題である。	今後もそれぞれの総合的な学習の時間の改善・充実に努めるとともに地域の素材や人材活用なども視野に入れた指導計画の作成に努める。
		⑩ 体験的な学習や問題解決的な学習を重視し、地域の人的・物的環境を活用した指導に努めている。	★★★★☆	3.33	B		
6 体育健康指導	⑪ 心身の健康と安全に関する意識を高め、たくましい心と体づくりに自ら取り組む実践的な態度を育てている。	★★★★☆	3.71	A	学校保健計画や食に関する指導の全体計画等、健康・安全に関わる諸計画を整備し、自他の生命を守り健康の保持増進を図る態度を育てている。	今後も、自ら健康で安全な生活を送ることができるよう、望ましい生活習慣づくりの指導を充実するとともに、体力向上の取組を工夫する。	
	⑫ 養護教諭と各担任、学校と家庭との密接な連携のもと、心身の健康や望ましい生活習慣など健康意識を高める指導に努めている。	★★★★☆	3.67	A			
7 進路指導	⑬ 進路指導の全体計画に基づき、自己の将来の在り方・生き方を考え、主体的に進路を選択しようとする態度を育てている。	★★★★☆	3.62	A	キャリア教育の全体計画を整備し、宿泊研修や総合的な学習の時間における専門学校での職業体験を実施し、望ましい職業観や勤労に対する意識の育成に努めている。	キャリア教育の年間指導計画を整備して3年間を見通した計画的な進路指導を展開し、生徒が夢や目標をもって学ぼうとする態度を育てる。	
	⑭ 地域の教育資源を活用した体験的な活動を取り入れ、望ましい勤労観や職業観の育成に努めている。	★★★★☆	3.24	B			
8 情報教育	⑮ 情報教育の全体計画に基づき、コンピュータなどの機器を有効活用し、情報を適切に処理し活用する力を育てている。	★★★★☆	3.19	B	教科や総合的な学習の時間における情報活用能力の育成、ならびに学年・学級指導における携帯電話やインターネットに関するモラル指導などを展開している。外部講師を招き事故防止教室も開設し危険性についても学ぶことができた。	今後も、学年の発達段階に応じた計画的な指導を行うとともに、情報社会を生きるために必要なモラルや判断力を育成するよう努める。	
	⑯ 情報化社会における望ましい情報の収集や発信の在り方など情報モラルの育成に努めている。	★★★★☆	3.14	B			
9 特別支援教育	⑰ 特別な支援を必要とする生徒の実態把握と生徒理解を深め、一人一人の教育的ニーズに応じた教育環境を整備している。	★★★★☆	3.71	A	特別な支援を必要とする生徒の把握と、個別の支援計画・指導計画のもと、コーディネーターを中心に全校体制で取り組んでいる。また生徒理解研修の場や日常的な情報交流によりきめ細かな対応ができている。	今後も、全校体制で一人一人のニーズに応じた指導を推進するとともに、さまざまな生徒の学習や対人関係における躓きにもきめ細かに対応する。	
	⑱ コーディネーターを中心とする校内委員会を機能させ、組織的な特別支援教育の推進に努めている。	★★★★☆	3.62	A			
10 部活動	⑲ 部活動の意義や目的を踏まえ、生徒の自主性・自発性を重視して心身の健全な育成を図っている。	★★★★☆	3.67	A	技術の向上のみならずマナーを身に付けるとともに、活動できることへの感謝の気持ちを育むことをめざし、全校あげて取り組んだ。指導体制のなお一層の充実が重要である。	生徒数の減少とそれに伴う予算の減少を見通しながら条件整備とより一層の指導体制の充実を努める。	
	⑳ 今後の部活動の在り方についての検討を図り、部活動の実施に係る条件や環境の整備に努めている。	★★★★☆	3.33	B			
教育経営	1 校務運営・組織	① 校務分掌、特別委員会などの構成や業務内容等は、学校に実態に即して適切に組織、運営されている。	★★★★☆	3.52	A	校務運営委員会の定期的開催など特別委員会の機能的な運営が図られてきた。また学年・分掌の業務については協働体制が構築され円滑な運営がなされた。	今後も、全校の協働体制を確立し、「助けたり助けられたり」の校務運営を推進する。また、特別委員会のより一層の改善・工夫を行うとともに分掌への適切な人事配置を行い校務運営の円滑な推進に努める。
		② 学校教育目標の実現に向けPDCAサイクルに基づく実践と検証を行い、組織体として機能する運営に努めている。	★★★★☆	3.52	A		
	2 学年・学級経営	③ 生徒一人一人の居場所や存在感を実感でき、個や集団の成長を促す活力ある学年・学級経営を行っている。	★★★★☆	3.67	A	学年・学級経営の充実をめざし、生徒の様子についての情報交流を積極的に行い共通理解を深め、温かい人間関係の形成とのぞましい集団づくりにつとめている。	今後も、情報交流を密にし、全教職員の協働体制による、温かい人間関係を基盤にした学年・学級経営の充実を努める。また学年の枠を超えた情報交流の一層の強化に努め、秩序の安定を図る。
		④ 学年・学級目標及び経営計画は生徒の実態を踏まえ、学校の教育目標や重点目標の具現化を目指して設定し、検証と改善に努めている。	★★★★☆	3.67	A		
	3 研究・研修	⑤ 「確かな学力」の育成に向け、生徒の実態を踏まえた研修テーマのもと、組織的な研究の推進を図っている。	★★★★☆	3.67	A	「学びを楽しむ生徒の育成」という研修テーマのもと、楽しくわかる授業づくりをめざし「全員一授業」の授業交流をおこなうとともに、各自が研修会などに参加して研鑽を積み、授業改善と確かな学力の定着に向け取り組んでいる。	研修テーマに基づく実践を皆で積み重ね授業の改善・工夫を図るとともに研究会等に積極的に参加して力量を高め自己ならびに学校全体の資質向上に寄与するよう努める。
		⑥ 授業交流など日常的な実践交流により、自らの指導力の向上を図るとともに、研究の成果が生徒に還元される研究の推進に努めている。	★★★★☆	3.71	A		
	4 教育環境整備	⑦ 清潔で快適な環境や潤いのある環境づくりなど、生徒が学習・生活しやすい環境の整備を図っている。	★★★★☆	3.81	A	日常の施設・設備の点検や教材・教具の計画的な整備により、生徒が安心して学べる環境づくりに努めた。今年度は中庭と体育館横の芝生にテーブルとイスを設置して昼休みの憩いの場とし、潤いのある環境づくりを行うことができた。	今後も、教育委員会と連携し、必要な営繕や施設・設備の充実に努めるとともに、生徒による環境の充実と美化活動をより一層推進し、落ちついた温かみのある教室や校舎づくりを推進する。
		⑧ 校舎内外の施設設備の点検が定期的に行われ、維持・営繕及び安全管理に努めている。	★★★★☆	3.90	A		
	5 家庭・地域連携	⑨ 学校だより、学年・学級だより等の各種通信や印刷物が、学校からの情報として効果的に発信されている。	★★★★☆	3.90	A	各種通信等により積極的に情報を発信するとともに、行事ごとに保護者アンケートを実施して保護者の声に耳を傾け、改善に努めている。また、校区小学校との情報交流や研修の場を設け、生徒理解に生かしている。	保護者との連携はもちろん、地域の声にも耳を傾けるとともに情報交流を大切にしながら、学校改善に生かしていく。また、積極的な情報提供と日頃からの連携に努め学校への理解と協力を得よう努める。さらに、校区小学校との交流を一層深め、望
		⑩ 学校生活上の諸問題にかかわり、双方向のコミュニケーションを図り、家庭・地域との連携協力による指導に努めている。	★★★★☆	3.67	A		